



内閣府 沖縄総合事務局
国営沖縄記念公園事務所

〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川424番地
TEL. 0980-48-3140 FAX. 0980-48-3793
<http://www.dc.ogb.go.jp/kouen/>

首里出張所

〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町3丁目1番地
TEL. 098-886-3161 FAX. 098-886-3154

国営沖縄記念公園 Official Site

<http://oki-park.jp/>

国営沖縄記念公園事務所 所在地



海洋博覧会地区 本部町
瀬底島 名護市
沖縄市
那覇市 糸満市
首里城地区

首里出張所 所在地

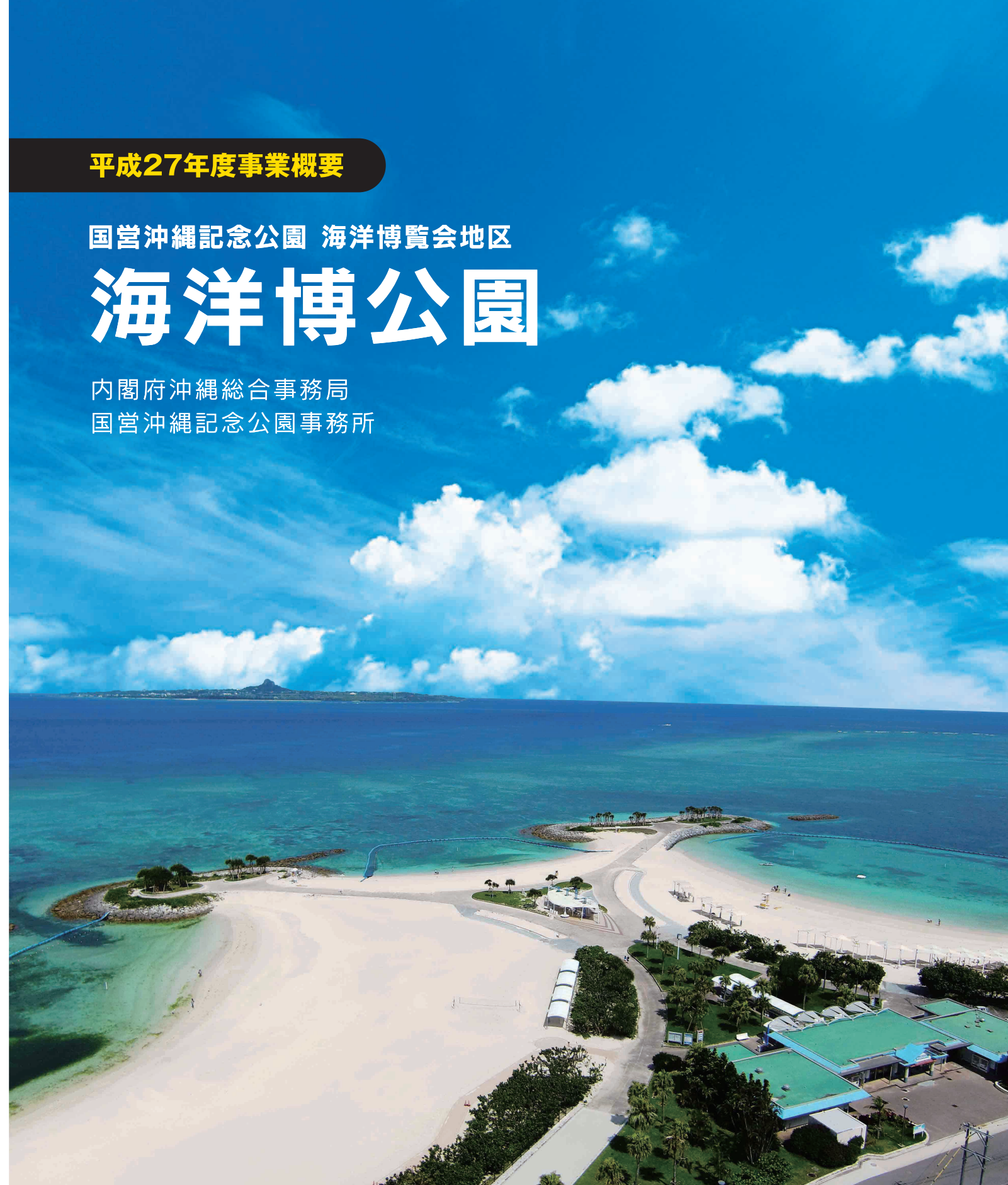


平成27年度事業概要

国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区

海洋博公園

内閣府沖縄総合事務局
国営沖縄記念公園事務所





国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区『海洋博公園』

太陽と花と海

海洋博覧会地区は、昭和50年度（1975年）に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念して、昭和51年8月に博覧会跡地に設置された国営公園です。
そのテーマを「太陽と花と海」とし、基本方針に基づいて整備が進められています。

海洋博公園の概要

位 置：沖縄県国頭郡本部町
都市計画決定面積／77.2ha（開園面積71.8ha）
着手年度：昭和50年度 供用開始：昭和51年度
テ ー マ：「太陽と花と海」

基本方針

- 1 沖縄にふさわしい公園とするとともに、沖縄の持続的な観光振興の中核となる公園とする
- 2 沖縄国際海洋博覧会の記念事業としてふさわしい公園とする
- 3 日本だけではなく外国の人々にも利用される公園とする
- 4 海との調和を十分考慮する
- 5 亜熱帯性気候を十分考慮し、四季を通じて利用できるものとする
- 6 歴史的・文化的資源を生かした公園とする

整備方針

当公園は、沖縄の豊かな自然環境や歴史文化を背景に整備された公園施設を有しており、多様なレクリエーション機能や学習活動の場を提供するとともに、沖縄観光の主要施設として老若男女を問わず多くの利用者が訪れています。
このような状況を踏まえ、園内のユニバーサルデザイン化を進めることにより、福祉社会への対応を図るとともに、自然環境や歴史文化の学習プログラム、様々なイベントの充実に努めることで、誰もが快適に利用しやすい公園づくりを目指しています。

施設の整備

■平成27年度の主な事業

当公園は昭和50年に開催された沖縄国際海洋博覧会当時に整備された政府出展施設を多数有しておりますが、経年劣化が進み改修が必要な状況となっております。平成27年度は熱帯ドリームセンターの改修、緊急時に備えＣＣＴＶカメラ、放送・通信設備の拡充を図ります。

老朽化施設の改修（熱帯ドリームセンター）

熱帯ドリームセンターは昭和61年2月に開園し、29年が経過しており受変電設備を始めとした設備類やセンター内に5箇所ある温室等が経年劣化で老朽化しています。平成27年度は設備の更新、温室等の一部改修を行います。



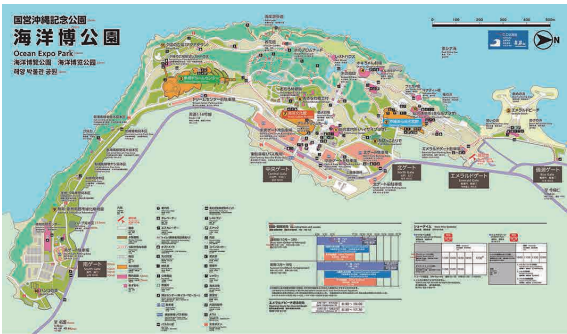
果樹温室



ビクトリア温室

園内案内サインの改修、駐車場の拡張整備

海洋博覧会地区の利用者数は、沖縄県の入域観光客数が堅調に推移していることを受け増加しています。
特に近年では外国人利用者也増加していることから、園内の案内サインを現在の3言語（日本語、英語、中国語）から5言語（日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語）で表示するよう改修し、海外からの利用者也含めた公園利用者の利便性向上を図ります。また、修学旅行等団体旅行での利用者が集中する秋季には、大型バスの駐車場が不足していたため、既存施設の移転に伴い生じたスペースを活用し、既存駐車場を大型バスも利用可能な駐車場へ拡張します。



5言語に対応した案内サイン（イメージ）

事業の沿革

年 代	事 項
昭和50	04.24 沖縄国際海洋博覧会関係園僚協議会において跡地利用部会設置
	07.15 公園設置について閣議決定
昭和51	07.20 沖縄国際海洋博覧会開幕
	01.18 沖縄国際海洋博覧会閉幕
昭和52	08.01 国営沖縄海洋博覧会記念公園開園（供用面積36ha）
	08.08 国営沖縄海洋博覧会記念公園開園式
昭和53	07.19 電気遊覧車運行開始
	08.18 ヤム号譲渡式
昭和54	04.28 中央ゲート開門式
	05.10 マナティー贈呈式（メキシコ政府よりマナティー寄贈2頭）
昭和55	11.12 入園者200万人達成
	04.26 おきなわ郷土村、おもしろ植物園、東駐車場開園（供用面積48ha）
昭和56	04.28 ちびっことりで、中央ゲート駐車場オープン（供用面積43ha）
	07.28 第1回花火大会実施
昭和60	09.08 入園者300万人達成
	01.06 第1回トリムマラソン大会実施
昭和61	04.26 おきなわ郷土村、おもしろ植物園、東駐車場開園（供用面積48ha）
	03.11 入園者500万人達成
昭和63	01.13 入園者1,000万人達成
	02.08 熱帯ドリームセンター開園（供用面積60ha）
平成元	01.10 入園者1,500万人達成
	07.28 日本の都市公園100選に選定
平成2	05.31 熱帯ドリームセンター公共建築賞（文化施設部門）受賞
	08.01 沖縄県観光功労賞として表彰
平成4	08.03 入園者2,000万人達成
	10.06 熱帯・亜熱帯都市緑化植物園開園（供用面積69ha）
平成6	02.14 入園者2,500万人達成
平成26	04.29 マナティー館、ウミガメ館オープン

年 代	事 項
平成8	01.26 海洋博覧会地区入園者3,000万人達成
	10.12 開園20周年記念事業やんばる村まつり開催
平成9	05.02 コミュニティーホールオープン
	06.24 メキシコ政府よりマナティー再寄贈
平成11	10.10 マナティー一般公開
	01.12 海洋博覧会地区入園者3,500万人達成
平成12	04.12 南地区エントランスゾーン開園（供用面積70.7ha）
	07.16 サミット記念 芸能フェスティバル実施
平成13	10.23 アクアポリス中国上海へ渡航
	04.22 第12回全国「みどりの愛護」のつどいを開催
平成14	05.29 海洋博覧会地区入園者4,000万人達成
	08.31 旧水族館閉館
平成15	11.01 新水族館（沖縄美ら海水族館）開館
	12.20 総合案内所（ハイサイプラザ）オープン（供用面積71.6ha）
平成16	10.24 沖縄美ら海水族館入館者500万人達成
	02.20 海洋博覧会地区入園者5,000万人達成
平成18	11.11 沖縄美ら海水族館入館者1,000万人達成
	01.31 イルカスタジオ、海の保育園、旧水族館アーケードの利用休止
平成20	02.01 ちびっことりでリニューアルオープン
	04.23 沖縄美ら海水族館入館者1,500万人達成
平成21	02.12 海洋博覧会地区入園者6,000万人達成
	03.30 沖縄美ら海水族館入館者2,000万人達成
平成22	04.29 オキちゃん劇場リニューアルオープン
	06.25 海洋文化館映像ホールリニューアルオープン
平成24	01.13 海洋博覧会地区入園者7,000万人達成
	03.20 総合休憩所（美ら海プラザ）オープン
平成25	04.28 エメラルドゲート、エメラルド駐車場オープン（供用面積71.8ha）
	02.02 夕陽の広場展望レストハウスオープン
平成26	10.11 海洋文化館展示ホールリニューアルオープン
	08.04 海洋博覧会地区入園者8,000万人達成



凡例

国	道	— (Red line)
県	道	— (Green line)
市町村界		--- (Dashed line)

出典：国土地理院

「海」をテーマとしたゾーン

当公園のテーマ「太陽と花と海」の一つ「海」をテーマとしたゾーン。

主要施設としては当公園一番人気の沖縄美ら海水族館をメインに、イルカショーを楽しむことのできるオキちゃん劇場、イルカを間近で観察することができるイルカラグーン、その他にもマナティー館、ウミガメ館等があります。

また、当公園で唯一沖縄の海を体感できるエメラルドビーチや亀の浜があります。

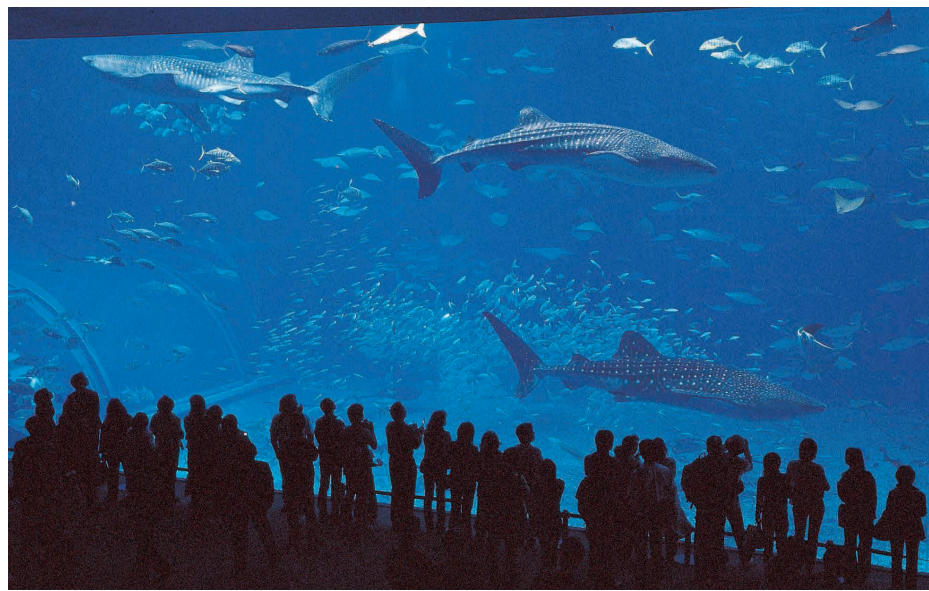
エメラルドビーチは海洋博覧会当時につくられた人工ビーチで、「遊びの浜」、「憩いの浜」、「眺めの浜」の3つの砂浜からなります。

このエメラルドビーチは雄大なコバルトブルーの海に白い砂浜が映え、誰でも気軽に南国の海を体験できる空間として、

約3,000人が遊泳したり、砂浜で遊ぶことができます。

沖縄美ら海水族館

開設 平成14年11月1日



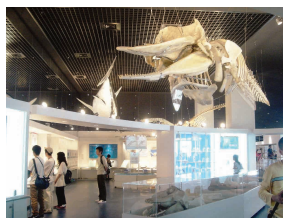
「黒潮の海」大水槽

施設概要

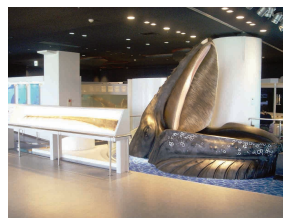
取水ろ過装置	高速ろ過方法(42m ³ /h) 330m ³ /h 3200φ 8基
循環ろ過装置	密閉式砂ろ過 80～90m ³ /h 3200φ 57基 開放式砂ろ過 2～12m ³ /h 11基 その他25基
水槽容量	「黒潮の海」大水槽(7500m ³) 「サンゴの海」水槽(300m ³) 「熱帯魚の海」水槽(700m ³) 「危険ザメの海」水槽(800m ³) 「深層の海」水槽(230m ³) その他個水槽等
水温調整設備	(深海への旅水槽) 5℃系統(熱源: 水冷ブラインチラー) 10℃系統(熱源: 水冷チラー)

美ら海プラザ

開設 平成24年3月20日



マッコウクジラの骨格標本



ザトウクジラの捕食模型

施設概要

建築面積	3,401m ²
待合・展望コーナー	約70人収容
ホール・地域情報室	約130人収容
展示コーナー ハンズオンコーナー	約140人収容
ガイダンスコーナー	約60人収容
休憩コーナー	約400人収容

イルカラグーン

開設 平成10年3月24日



施設概要

プール	4槽(浅瀬水槽、体験・教育用水槽、繁殖用水槽、予備イルカ用水槽) ●浅瀬、体験・教育用水槽 高さ4.0m 面積380m ² ●繁殖用水槽 高さ3.0m 面積167.7m ² ●予備イルカ用水槽 高さ3.0m 面積167.7m ²
屋内	約50人収容
屋外	約150人収容

オキちゃん劇場

開設 昭和51年8月1日
改修 平成22年4月29日

施設概要

プール	4槽 観覧席: 986人収容
-----	----------------



マナティー館

開設 平成6年4月29日

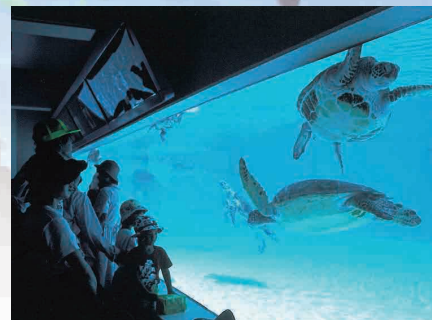


施設概要

プール	3槽
観覧席	約140人収容

ウミガメ館

開設 平成6年4月29日



施設概要

プール	4槽
産卵場	約115m ²
屋外	約200人収容
屋内	約50人収容

エメラルドビーチ

開設 昭和51年8月1日



エメラルドビーチ全景



遊びの浜



憩いの浜

施設概要

面積	海浜地区面積／約30,000m ² 遊びの浜／汀線長約350m 憩いの浜／汀線長約250m 眺めの浜／汀線長約150m
----	---

その他施設

総合案内所(ハイスайプラザ)



一般車両駐車場



北駐車場

海岸遊歩道



バス車両駐車場



東駐車場

一般車両駐車場施設一覧表

総収容台数1,428台(うち身障者用23台) ※バス専用、2輪駐車場含まず。

駐車場名称	最寄り施設	駐車台数		
		普通 (身障者用)	大型	2輪
南ゲート駐車場	熱帯・亜熱帯都市緑化植物園 パンコの森	82 (3)	6	0
ポンプ場駐車場	海洋文化館	87	0	0
中央ゲート南駐車場	おきなわ郷土村	175 (6)	0	10
中央ゲート北駐車場	熱帯ドリームセンター			
北ゲート前駐車場	沖縄美ら海水族館	70	0	0
北駐車場(立体駐車場)	オキちゃん劇場	789 (9)	0	0
東駐車場(バス専用)	—	0	66	0
ドリームセンター前駐車場	熱帯ドリームセンター 夕陽の広場	62 (2)	0	0
エメラルドゲート駐車場	エメラルドビーチ	163 (3)	0	0

● 沖縄文化・センターゾーン

公園の顔となるゾーン

中央ゲートから中央広場に至り、沖縄の海と島(伊江島)、花や水を眺望することができる空間で賑わいとくつろぎを感じて頂く当公園の顔となる中心的ゾーン。

主要施設としては、環太平洋、沖縄文化をテーマとした海洋文化館、おきなわ郷土村、水の景を楽しむことのできる水の階段、ネット遊具が人気のちびっことりで、総合案内所等があります。

海洋文化館

開設 昭和51年8月1日
改修 平成25年10月11日

海洋文化館は、1975年(昭和50年)に開催された沖縄国際海洋博覧会の継承施設で、アジア・南太平洋地域の人間と海とのかわりを示すさまざまな漁具、船、生活用具などを南太平洋のメラネシア、ポリネシア、ミクロネシア、更に東南アジア、日本などから集め展示し、太平洋地域の海洋文化を紹介する施設です。

展示ホールは当時からの展示品に新たに収集した資料を加え約750点の資料をテーマ性のある展示構成にリニューアルしました。映像ホール(プラネタリウム)では、沖縄の季節の星座や星にまつわる民話、ミクロネシアに伝わる伝統航海術を紹介した番組を上映しています。



展示ホール



プラネタリウム

施設概要

展示ホール	建築面積約8,140㎡
展示資料	約750点
映像ホール	189席
ドーム状スクリーン	直径18m
プラネタリウム	1基



展示ホール



おきなわ郷土村

開設 昭和55年4月26日



地頭代の家



おきなわ郷土村は、沖縄の昔の村落の成り立ちを基本にして、琉球王国時代から明治22年頃までの村落の様子を再現したものです。

施設概要

全体区域面積	約4ha
施設	民家8棟(赤瓦・白漆喰様式4棟、茅葺4棟)、御嶽、神アサギ、水場より構成される広場、高倉群、サーター家等の施設

おもろ植物園

開設 昭和55年4月26日

おもろ植物園は、12世紀から17世紀にわたって語られた沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」に登場する22種類の植物を植栽展示しています。

施設概要

面積	約1,800㎡
展示植物	草本類4科6種類・木本類13科16種類



ちびっことりで

開設 昭和54年4月28日
改修 平成20年2月1日

日本最大級のネット遊具としてリニューアルオープンしました。「沖縄の海」をテーマに4つのゾーンで構成されています。



施設概要

面積	約3,200㎡
設備	●ネット遊具 208面 ●幼児遊具 5ヶ所 ●ミスト 3ヶ所 ●休憩所 2ヶ所

● 熱帯亜熱帯環境ゾーン

沖縄の自然を満喫できるゾーン

当公園のテーマの一つである「花」や熱帯・亜熱帯植物を多数展示し、色鮮やかな花や緑に囲まれ自然を満喫できるゾーン。主要施設としては、多くの蘭の展示をメインとする熱帯ドリームセンター、展望レストハウス、複合遊具を備えた夕陽の広場、植物見本区、植物管理センターを備えた、熱帯・亜熱帯都市緑化植物園があり、その他にもバンコの森、お花畑等があります。

熱帯ドリームセンター

開設 昭和61年2月8日



熱帯ドリームセンターは、ラン及び熱帯花木の咲き乱れる東南アジア、中南米、南アフリカなどの熱帯地方のイメージをドリーム空間として再現・創造しようとする施設です。

敷地面積約6haのうち約2.5haを防風壁や建築構造物などにより囲み、施設全体が大温室的機能をもたせ、内部にラン・花木などの造園展示を行っており、レンガ張りの建築物群等により特殊な景観が創造されています。当公園のテーマである「太陽と花と海」の「花」を象徴する施設です。



ファレノプシス温室



パンダ温室



果樹温室



カトレア温室

施設概要

面積	●全体面積 6ha ●防風壁内部 2.5ha ●周辺部 3.5ha ●ラン温室 1,478㎡ ●果樹温室 1,263㎡ ●ビクトリア温室 781㎡ ●回廊等 3,290㎡
----	---

夕陽の広場

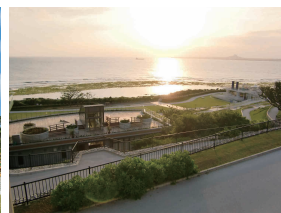
開設 昭和51年8月1日
改修 平成25年2月2日

施設概要

面積	約5,500㎡
設備	複合遊具 幼児遊具
施設	展望レストハウス 1F 休憩スペース 2F 休憩スペース レクチャールーム 3F 展望デッキ



展望レストハウス



お花畑

開設 昭和51年8月1日

施設概要

面積	●全体 約2,800㎡ ●花壇面積 約1,900㎡
----	------------------------------



熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

開設 平成2年10月6日

施設概要

面積	●全体面積 9ha ●植物管理センター 建築面積 3,732㎡
設備	●熱帯花木 ●立体花壇 ●ハーブ ●耐潮風植物 ●高木 ●ヤシ類 ●低木 ●地被植物 ●街路樹見本区



バンコの森

開設 平成11年4月12日
改修 平成16年3月30日

施設概要

面積	約5,500㎡
設備	●アコウバンコ(小屋) 2棟 ●植物観察路(スロープ) ●縁台



国営沖縄記念公園とは

国営沖縄記念公園は、昭和50年度に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念し、翌51年度よりその跡地に整備を進めている「海洋博覧会地区」と沖縄の復帰を記念する事業の一環として、昭和61年度より首里城の復元を進めている「首里城地区」からなります。

国営沖縄記念公園事務所では、沖縄観光振興の支援を図れるよう整備を促進するとともに、来園者が安全で快適に園内を利用できるように必要な維持・運営管理を実施しています。

また、両地区の名称は来園者に解りやすく利用しやすい名称として、それぞれ「海洋博公園」「首里城公園」としています。

閣議決定

■沖縄国際海洋博覧会を記念する公園の設置

(昭和50年7月15日 閣議決定)

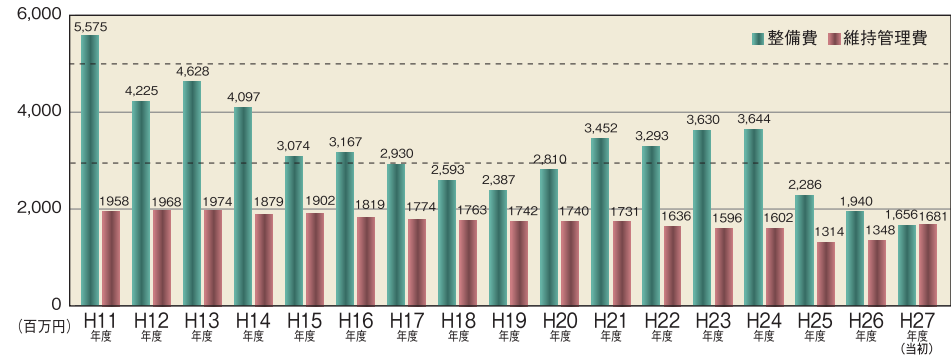
沖縄県国頭郡本部町において開催される沖縄国際海洋博覧会の会場(面積約100ヘクタール)の跡地に、沖縄国際海洋博覧会記念公園(仮称)を設置し、国により整備する。

■沖縄復帰記念事業として行う都市公園の整備

(昭和61年11月28日 閣議決定)

沖縄の復帰を記念する事業の一環として、首里城跡地(沖縄県那覇市首里城跡地の面積約4ヘクタール)の区域を国営沖縄記念公園首里城地区、昭和50年7月15日に閣議決定(沖縄国際海洋博覧会を記念する公園の設置について)された国営沖縄海洋博覧会記念公園を国営沖縄記念公園海洋博覧会地区として整備する。

事業費の推移(補正含む)



事業の沿革

年代	事項
昭和50	07.15 沖縄国際海洋公園の設置について閣議決定される。
	07.20 沖縄国際海洋博覧会開幕
	01.18 沖縄国際海洋博覧会閉幕
昭和51	03.22 都市計画法に基づき都市計画決定(沖縄県告示第88号)(77ha)
	03.27 都市計画事業承認(建設省告示第507号) S51.3.27～S56.3.31
	07.31 国有財産等引継(7月31日まで通産省所管、8月1日より建設省所管)
	08.01 暫定供用開始
	08.30 都市公園の設置の公告(建設省告示第1237号)(海洋博覧会地区)
	09.01 正式供用開始
昭和56	03.23 都市計画事業承認(建設省告示第625号) S51.3.27～S61.3.31
	03.22 都市計画事業承認(建設省告示第731号) S51.3.27～S66.3.31
昭和61	11.28 首里城跡約4haを「国営沖縄記念公園首里城地区」として整備することが閣議決定され、従来の海洋博覧会記念公園は「国営沖縄記念公園海洋博覧会地区」と位置付けられる。
	02.27 首里城公園都市計画決定(沖縄県告示第135号)(約17.8ha)
昭和62	10.05 都市計画事業承認(建設省告示第1687号) S62.10.5～S66.3.31(首里城地区)
	01.28 都市公園を設置すべき区域の決定告示(建設省告示第133号)首里城地区追加
昭和63	03.12 都市計画事業承認(建設省告示第519号) S51.3.27～H8.3.31(海洋博覧会地区)
	都市計画事業承認(建設省告示第520号) S62.10.5～H8.3.31(首里城地区)
平成3	10.27 都市公園の設置の告示(建設省告示第1749号)(首里城地区)
	11.03 首里城公園供用開始(約1.7ha)
平成8	03.28 都市計画事業承認(建設省告示第1030号) S51.3.27～H13.3.31(海洋博覧会地区)
	都市計画事業承認(建設省告示第1031号) S62.10.5～H13.3.31(首里城地区)
平成13	03.30 都市計画事業承認(国土交通省告示第444号) S51.3.27～H15.3.31(海洋博覧会地区)
	都市計画事業承認(国土交通省告示第445号) S62.10.5～H15.3.31(首里城地区)
平成15	03.31 都市計画事業承認(国土交通省告示第354号) S51.3.27～H20.3.31(海洋博覧会地区)
	都市計画事業承認(国土交通省告示第355号) S62.10.5～H20.3.31(首里城地区)
平成20	02.29 都市計画の変更(沖縄県告示第93号)(海洋博覧会地区)(77.0ha)
	03.31 都市計画事業承認(国土交通省告示第391号) S51.3.27～H25.3.31(海洋博覧会地区)
平成22	01.21 都市計画の変更(沖縄県告示第19号)(海洋博覧会地区)(77.2ha)
	07.15 都市計画事業承認(国土交通省告示第756号) S51.3.27～H25.3.31(海洋博覧会地区)
平成24	04.18 都市公園の供用開始告示(沖縄総合事務局告示第29号)(海洋博覧会地区)
	03.29 都市計画事業承認(国土交通省告示第305号) S51.3.27～H30.3.31(海洋博覧会地区)
平成25	03.29 都市公園の供用開始告示(沖縄総合事務局告示第25号)(首里城地区)
	01.10 都市公園の供用開始告示(沖縄総合事務局告示第2号)(首里城地区)
平成26	03.18 都市公園の供用開始告示(沖縄総合事務局告示第24号)(海洋博覧会地区)
	都市公園の供用開始告示(沖縄総合事務局告示第25号)(首里城地区)

事務所の沿革

年代	事項
昭和51	07.01 海洋博覧会記念公園事務所発足(所長、建設専門官、庶務係、工務係、施設管理係)
	昭和52 10.01 庶務課設置(庶務係)
昭和53	04.05 建設専門官を廃止、工務課設置(工務係、施設管理係)
昭和54	10.01 工務課に建築設備係設置
昭和56	10.01 建設監督官設置
昭和59	10.01 庶務課に経理係設置
昭和61	10.01 建設専門官設置、工務課に計画係設置
昭和62	03.25 海洋博覧会記念公園事務所から国営沖縄記念公園事務所へ名称変更
	05.21 建設専門官、計画係の廃止 首里出張所設置(所長、計画係設置)
昭和63	06.24 国営沖縄記念公園事務所 首里出張所開所
	10.01 首里出張所に工事係設置
昭和63	10.01 建設監督官設置
平成元	10.01 首里出張所工事係廃止、工事第一係、工事第二係設置
平成2	10.01 首里出張所に調整係設置
平成7	04.01 建設専門官設置、首里出張所工事第一係、工事第二係廃止、工事係設置
	平成22 04.01 首里出張所工事係廃止 庶務課から総務課へ名称変更



国営沖縄記念公園事務所
(本部町字石川)



首里出張所
(那覇市首里当蔵町)

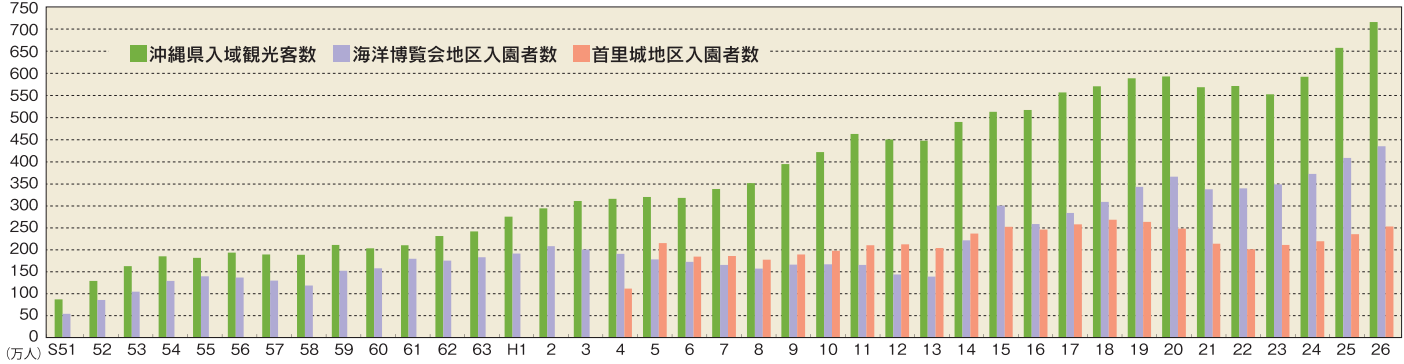
資料編

海洋博覧会地区

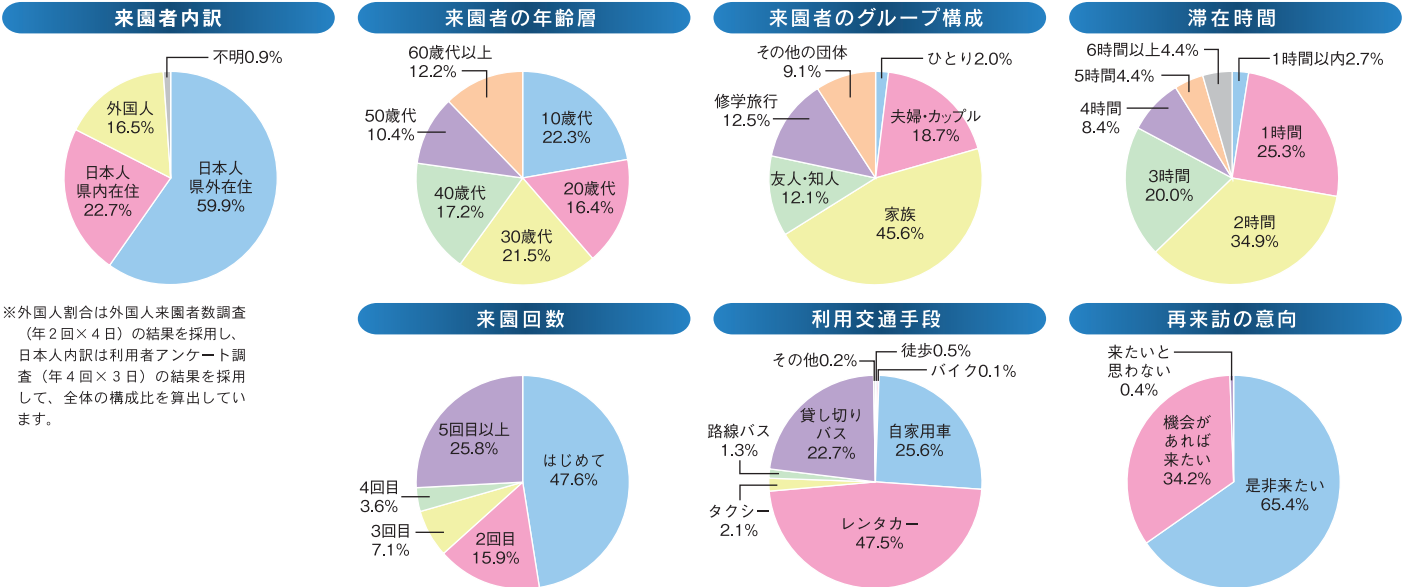
年度	入園者					入館者(有料区域)					(無料区域)
	入園者総数	大人	小人	日最大	日平均	水族館	沖縄美ら海水族館	海洋文化館	熱帯ドリームセンター	植物管理センター	
昭和51	539,178	375,397	163,781	10,751	2,995	294,545	—	36,041	—	—	—
52	853,598	701,627	151,971	15,485	2,693	446,032	—	38,263	—	—	—
53	1,041,540	861,291	180,249	21,385	3,328	575,256	—	56,603	—	—	—
54	1,284,860	1,038,325	246,535	25,610	4,145	725,053	—	61,181	—	—	—
55	1,391,299	1,122,894	268,405	37,397	4,431	706,320	—	67,721	—	—	—
56	1,360,719	1,086,050	274,669	23,551	4,347	705,671	—	51,531	—	—	—
57	1,293,001	1,033,916	259,085	33,931	4,092	706,991	—	52,875	—	—	—
58	1,180,733	943,972	236,761	31,677	3,736	675,547	—	44,681	—	—	—
59	1,520,157	1,231,938	288,219	55,764	4,857	799,820	—	47,969	—	—	—
60	1,572,984	1,246,322	326,662	65,309	4,994	721,330	—	46,398	185,777	—	—
61	1,786,231	1,414,168	372,063	79,052	5,725	727,136	—	39,857	452,937	—	—
62	1,746,251	1,416,977	329,274	70,638	5,615	782,866	—	36,860	347,838	—	—
63	1,822,298	1,466,930	355,368	51,761	5,803	792,766	—	53,198	333,236	—	—
平成元	1,908,411	1,557,283	351,128	33,770	6,058	886,396	—	65,756	344,116	—	—
2	2,073,031	1,694,056	378,975	62,960	6,666	930,592	—	50,042	376,542	15,455	—
3	1,997,655	1,672,950	324,705	42,930	6,382	1,036,687	—	68,641	389,879	21,435	—
4	1,897,743	1,610,598	287,145	37,739	6,063	985,966	—	55,331	409,657	17,213	—
5	1,773,539	1,476,933	296,606	34,546	5,666	941,174	—	76,390	442,406	15,895	—
6	1,715,978	1,422,087	293,891	40,351	5,448	880,719	—	45,534	368,626	18,212	—
7	1,648,964	1,502,206	146,758	37,859	5,218	842,658	—	工事の為休館	350,492	21,742	—
8	1,563,367	1,400,777	162,590	40,340	5,027	804,593	—	78,111	310,853	22,095	—
9	1,653,598	1,486,585	167,013	45,590	5,283	800,186	—	65,694	316,960	19,587	—
10	1,666,509	1,391,115	275,394	45,288	5,291	731,566	—	56,414	287,930	14,733	—
11	1,646,979	1,375,896	271,083	40,233	5,262	708,045	—	58,515	279,098	12,690	—
12	1,434,687	1,202,552	232,135	46,272	4,598	613,603	—	58,762	227,936	13,413	—
13	1,386,546	1,150,497	236,049	31,746	4,319	543,558	—	62,527	190,991	15,529	—
14	2,209,562	1,824,808	384,754	47,559	6,518	※1 206,781	※2 1,290,807	56,751	171,133	16,899	—
15	2,995,829	2,517,093	478,736	36,732	8,253	—	2,487,500	31,690	114,944	15,878	—
16	2,581,598	2,165,320	416,278	39,493	7,151	—	2,212,195	31,375	84,737	18,528	—
17	2,827,999	2,369,564	458,435	40,059	7,791	—	2,425,176	42,608	83,959	19,864	—
18	3,081,628	2,586,427	495,201	40,595	8,489	—	2,684,832	※3 32,015	111,045	21,167	—
19	3,427,090	2,858,127	568,963	29,823	9,441	—	3,023,328	49,954	126,755	25,817	—
20	3,653,439	3,026,242	627,197	40,726	10,065	—	3,100,730	50,463	127,608	27,214	—
21	3,370,881	2,779,053	591,828	41,469	9,286	—	2,790,649	43,194	106,329	31,424	—
22	3,386,664	2,802,318	584,346	43,847	9,355	—	2,715,090	53,372	109,237	31,901	—
23	3,478,592	2,853,577	625,015	42,917	9,583	—	2,720,887	94,267	113,512	32,090	—
24	3,714,274	3,091,741	622,533	48,307	10,346	—	2,811,480	67,527	125,258	30,731	—
25	4,078,597	3,406,491	672,106	42,403	11,174	—	3,034,776	97,727	127,646	29,863	—
26	4,345,261	3,634,164	711,097	43,612	12,070	—	3,230,468	113,954	147,250	29,951	—
計	82,911,270	68,798,267	14,113,003	—	—	19,571,857	34,527,918	2,139,792	7,164,687	539,326	—

※1:旧水族館は平成14年8月31日閉館 ※2:沖縄美ら海水族館は平成14年11月1日開館 ※3:平成18年4月1日～7月14日の間、施設改修工事により臨時休館

入域観光客と公園入園者の推移



平成 26 年度アンケート調査による利用実態(海洋博覧会地区)



※外国人割合は外国人来園者数調査(年2回×4日)の結果を採用し、日本人内訳は利用者アンケート調査(年4回×3日)の結果を採用して、全体の構成比を算出しています。